

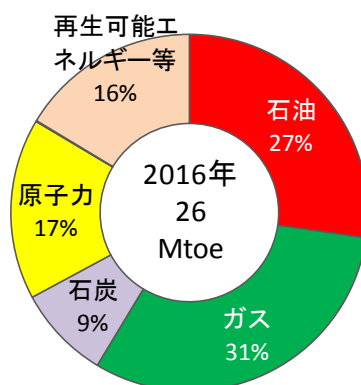
2-27 ハンガリー

1. サマリー

1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2016年) : 26 百万 toe (日本の 0.06 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2016年) : 2.61toe (日本の 0.78 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2015年) : 44%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2015年) : 42.5 百万 CO₂ton (日本の 3.7%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2015年) : 4.30CO₂ton (日本の 47.8%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2016 年末) : 石炭 311 年

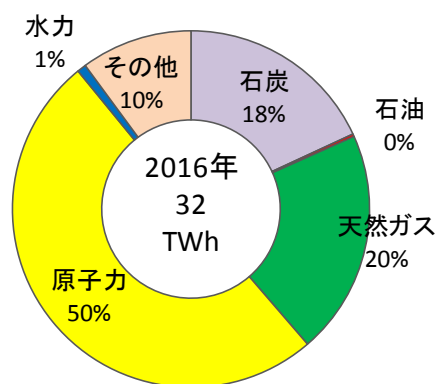
一次エネルギー供給構成 (2016 年)



Country: Hungary

(出所) World Energy Balances 2017, IEA

発電電力量構成 (2016 年)



Country: Hungary

(出所) World Energy Balances 2017, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- 国家開発省 (Ministry of National Development) がエネルギー政策および気候変動政策を、農業省 (Ministry of Agriculture) が環境政策を担う。
- 独立規制機関であるエネルギー・公益企業規制局 (Hungarian Energy and Public Utility Regulatory Authority : MEKH) が電力、ガス、熱供給市場の規制 (ライセンス発行、市場監視、料金規制、消費者保護、統計整備) を行う。
- 原子力エネルギー局 (Hungarian Atomic Energy Authority:HAEA) が原子力関連規制を担う。

(2) 基本政策

- 国家開発省が策定した「National Energy Strategy 2030」(2012年発表)では、エネルギー政策は国内外の情勢や地政学的環境を踏まえ、エネルギー需給の合理化、ハンガリー経済の成長、多くの国民が妥当な価格でエネルギーを利用できるようにすることを出発点にするとしている。そのうえで、次の4つの具体的な目標を達成することによって、持続可能かつ安全、ひいてはハンガリー経済の競争力向上に資するエネルギーシステムを構築するとしている。
 - エネルギー供給チェーン全体でのエネルギー効率向上
 - 再生可能エネルギーを中心とした低炭素電源の比率の拡大
 - 再生可能エネルギーや新たな手法による熱供給
 - 低炭素輸送モードの比率の拡大

(3) 最近の動向

- 2016年12月19日、HAEAは、同国唯一の原子力発電施設であるPaks発電所で、事業者で国営のMVM社が4号機の運転期間を2037年末まで20年延長する許可申請書を提出したと発表した。HAEAは同発電所の1号機と2号機については、すでにそれぞれの運転期間を2032年と2034年まで20年間延長することを承認済み。3号機についても、2036年まで延長する申請について、年内にも審査結果を明らかにすると見られている。
- 2017年3月6日、欧州委員会は、ハンガリーのPaks原子力発電所5、6号機増設プロジェクトについて投資を承認すると発表した。
- 2017年4月20日、ハンガリー首相府長官は、Paks原子力発電所Ⅱ期工事建設プロジェクトに対する資金調達は中央政府の財源、もしくはロシア以外の国際的な信用供与枠でも賄うことが可能だと発言した。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 日本とハンガリーのエネルギー分野での関係は確認出来ない。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Hungary

(2016年)

(1) 一次エネルギー供給量		26 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		2.61 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.18 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		44 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量(2015年)		42.5 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量(2015年)		4.30 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	8 %
	石油	27 %
	天然ガス	31 %
	原子力	16 %
	水力	0 %
	再生可能エネルギー等	16 %
(8) エネルギーの輸入依存度		56 %
(9) 石油の輸入依存度		86 %
(10) 輸入原油の中東依存度		17.2 %
(11) 原油の輸入先	第1位	ロシア
	第2位	イラク
	第3位	カザフスタン

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2017, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2017, IEA

(10)～(11) : Oil Information 2017, IEA